

「当たり前じゃなかった学校生活」

杉戸町立杉戸南中学校2年 伊藤 実季

私は今日まで学校に通い、多くの人に出会い、勉強をし、友達と遊ぶ。そんな日常は当たり前のことだと思っていました。きっと、多くの人がそうでしょう。ですが、それは違く、教科書や校舎など、多くのものが税金によって支えられ、そのおかげである日常なのです。私は初めて、その当たり前が当たり前「じゃない」ということに気づきました。

思い返せば、私たちの学校生活には税金がとても深く関わっていたと思います。毎年、新しい教科書が無償で配られています。ですがそれは税金で用意されているからあるのです。また、数年前に私達の学校の体育館にはエアコンが設置されました。このおかげで夏でも快適に体育の授業や集会ができるようになりました。そして、これも税金があったからこそ叶ったことだと思います。税金のおかげで私達が楽しく、快適な学校生活が送れていることと考えると、感謝の気持ちでいっぱいです。

他の税金の使い道について調べてみると、税金でまかなわれているのは教科書かエアコンなどの設備だけではありませんでした。学校で働いている先生や事務の方々の給料も税金から出ているようです。つまり、私達が安全に、楽しく勉強できている環境そのものが、税金によって成り立っているのです。もし税がなかったら、学校に通える人、通えない人に分かれ、平等に学ぶ機会がなくなってしまうかもしれません。

教育を受けることは、自分の将来はもちろん、社会全体の未来を支える大きな力になると、私は思います。

「教育は未来への投資」という言葉がありますが、まさにその通りだと思います。税金があるからこそ、誰もが平等に学ぶことができ、将来さまざまな分野で活躍し、社会をより良くしていけるのだと思います。世界には学校に通え

ない子供も多くいる中、日本では当たり前のように学校に通い、学べる環境があります。そんな環境を支えていてくれる税金に、感謝しないといけないと強く思いました。

私はこの文を書くことを通して、税金のおかげで私達は学び、成長することができていることを強く実感しました。税金は社会だけでなく、私達の未来を作る大切なものです。今のうちに、もっと税への理解を深め、大人になったらきちんと納税をし、今の大人のように次の世代の子供たちの教育を支える一員になりたいと思います。今までの

「当たり前」と思っていた学校生活は、多くの人の支えで成り立っていることを忘れず、これからも感謝しながら楽しく、みんなで学んでいきたいです。